

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

さて、小・中・高校の3学期が始まりました。被災地では3学期のスタートを新しい仮設校舎で迎える学校もありました。復興に向けて歩んでいる岩手の今を御紹介します。

【岩泉町・仮設校舎で3学期が始まりました】

岩泉町の小本小と小本中の両仮設校舎が完成し、19日、3学期の始業式が行われました。完成した仮設校舎は、町内業者により木造で建てられたもので、ペアガラスや断熱材で十分な耐寒性が確保されています。

両校の校舎は津波で浸水し、震災後、およそ20km内陸にある岩泉小、岩泉中の校舎をそれぞれ間借りし授業を行ってきました。温かい木造の仮設校舎で新学期を迎えたものです。



小本小大牛内分校敷地内に建設中だった仮設校舎

県内で震災により使えなくなった小、中、高校は27校。3学期始業までに、この2校のほか大槌町の大槌小、安渡小、赤浜小、大槌北小、大槌中が同一の、釜石市の唐丹小、唐丹中が各々の仮設校舎で、宮古市の田老一中、宮古工高が補修により自校舎で授業を再開しています。学校施設の復旧も着実に進んでいます。

【ありがとう！頑張ってます！】

陸前高田「奇跡の一本松」の苗木、名古屋へ

1月18日、名古屋市の河村たかし市長は陸前高田市の戸羽太市長と会談し、津波に耐えたものの現在枯死状態の「奇跡の一本松」の苗木を、三年後をめどに名古屋市の東山動物園に移して育てることで合意しました。



奇跡の一本松（平成24年1月25日撮影）

一方、戸羽市長は、名古屋市職員の派遣を来年度も継続するように要請。河村市長はそれを快諾しました。名古屋市は震災直後から学校建設や税務、福祉などの職員延べ約130人を陸前高田市に派遣しています。

【田野畑村・地域をつなげる買い物タクシー】

寒さ厳しい12月の田野畑村。村を巡回するバスに乗り込むのは、地域の高齢者たちです。この「お風呂・買い物タクシー」と呼ばれるバスは、県の「新しい公共支援事業」を活用し、地域づくり支援に実績のあるNPOと村が手を携え運行。孤立を防ぎ、新たな交流の場所をつくろうと、仮設住宅も巡回しています。

最初の目的地は、お隣・岩泉町の入浴施設。地元ヘルパーが付き添い、入浴、健康チェック後は、歌と体操を楽しみます。入浴の帰りには、商店に立ち寄り、利用者の買い物支援も行っています。



写真は、NPO法人いわて地域づくり支援センター・若菜千穂さん「新しいつながりができて、地域の輪がつくられていくといいなと思っています。」震災から10ヶ月。村と隣町を結ぶタクシーが、日々、人と人を結びつけています。

>>>詳しくは(バックナンバー) … <http://goo.gl/ZHKcX>

県政番組「いわて希望のちから」
いわて希望のちから 第32回～地域をつなげる買い物タクシー～
全編 岩手県 (1月16、17、19、22日放送)

皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況（12月31日現在）
約166億6,098万円（74,511件）
- ★寄付金受付状況（12月31日現在）
約67億1,904万円（4,684件）
- ★いわての学び希望基金受付状況（1月20日現在）
約30億7,700万円（4,414件）

>>>義援金・寄付金の募集

<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyuhou/volunteer.html>

岩手県の被害状況（1月31日現在）

- 人的被害 死者：4,667名
行方不明者：1,325名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24,739棟

【達増知事が在京大使館を訪問】

震災からの復興にあたっては、世界中の国々から支援をいただいています。クウェート国からは本県に対し日本赤十字社を通じて84億円（原油500万バレル）の支援金を、シンガポール共和国からは仮設ケアセンター（宮古市田老地区に設置）をそれぞれ寄贈いただきました。

1月26日、達増知事は東京出張の機会を利用して、両国に感謝の意を伝えるためそれぞれの在京大使館を訪問しました。両大使館では、駐日全権大使から改めて震災被害へのお見舞いとこれからも被災地を継続して支援していきたいとの温かい言葉をいただいたところです。

国内外から寄せられている様々な支援の広がりをおおきに受け止め、引き続き、開かれた復興を目指して取り組んでいきます。

【花巻東高のセンバツ出場決定！】

1月27日、花巻東高校の第84回選抜高校野球大会出場が決まりました。菊池雄星投手（現西武）を擁し準優勝を遂げた2009年以来の出場です。

同校野球部には、沿岸出身者も少なくなく、震災で自宅や家族を失った選手もいます。『復興元年』の今年、特に被災地にひたむきな姿勢で元気を届けます。

【くまモン（ゆるキャラ日本一）が岩手に！】

ゆるキャラGP2011の投票で1位となった“くまモン”が、1月30日、岩手を訪れました。「くまモン募金」で集まった支援金を贈呈するため熊本から訪れたものです。

皆さんから多くの御支援、ありがとうございます。



いわてと笑顔に いわてで笑顔に

【復興支援への感謝と 岩手の魅力情報を動画で発信】

東日本大震災津波の発生直後から、国内外よりたくさんの御支援・御声援をいただいております、心から感謝申し上げます。

昨年9月、全国からいただいた御支援に対する感謝の気持ちを伝え、震災から立ち上がる岩手の姿やイメージコピー「黄金の國、いわて。」に表現される岩手の普遍的な魅力を発信するため、ポスター（「いわてと笑顔に」「いわてで笑顔に」）を作成したところですが、さらなるメッセージや岩手の魅力を、主に県外に向けて発信していくため、新たに動画を作成しました。

この動画は、①東日本大震災津波の被災から立ち上がる岩手の姿や被災者のメッセージを紹介した「いわてと笑顔に（復興編）」と、②「黄金の國、いわて。」に表現される岩手の食、パワースポット、祭り、歴史文化、伝統工芸などの魅力を紹介した「いわてで笑顔に（『黄金の國、いわて。』編）」、③岩手の自然、なにげない日常風景を宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」にのせて紹介した「雨ニモ負ケズ（自然や暮らしの風景編）」の計3種類で、ウェブで動画配信しています。また、海外にも情報発信していくため、「復興編」については「英語字幕版」「仏語字幕版」も用意しました。

さらに、主に首都圏で開催されている復興支援イベント会場などで動画を流しているほか、英語・仏語の外国語版については、マレーシアやフランスなどのイベント会場でも流され、好評をいただいています。

これからも、岩手を応援してくださる国内外の方々との「つながり」を大切にしながら、震災からの復旧・復興に向けて、一步一步、前に進んでいきます。引き続き、御支援をお願いします。

>>>動画はこちらから

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=35502>



「いわてと笑顔に（復興編）」



「いわてで笑顔に（『黄金の國、いわて。』編）」



「雨ニモ負ケズ（自然や暮らしの風景編）」



いわて復興だより 第14号 平成24年2月1日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6918 ✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFB0z>